学校番号	309

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	P検協会　新「情報」活用テキスト　「実技・実習」編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報について実習を中心として学習していく。実習課題成果物を受身ではなく能動的に作成することが望ましい。

2　学習の到達目標

(1)情報機器を適切に活用し，情報を収集，分析しながら問題を解決する力を身につける。
(2)情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において，他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。
(3)情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し,情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
(4)コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し，情報社会を支えるシステムに関心をもつ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち,情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報を活用しながら自分の考えや意見を表現するとともに,情報の受発信時には,情報モラル等の観点も含め,適切な判断ができる。	コミュニケーションや問題解決などの場面において，情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用する力を身につけている。	情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに，情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評価方法	・行動観察 ・実習課題成果物	・行動観察 ・実習課題成果物 ・テスト	・行動観察 ・実習課題成果物	・行動観察 ・テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報リテラシー	・文書作成の方法 ・表計算ソフトの活用方法 ・データ分析技法	○		○	○	a:ビジネス文書がどのように作成され利用されるかを理解できる。表計算の必要性と利便性が理解できる。 c:ワープロや表計算ソフトの使い方を理解している。 d:文書作成や表計算の重要性を理解し、適切に判断し利用できる。	・行動観察 ・ワークシート ・ペーパーテスト
2学期	情報社会における法と個人の責	・知的財産権の保護と利用 ・著作権の利用方法		○		○	b:知的財産権の必要性と重要性を理解することができる。 d:知的財産権や著作権などの法律の知識の重要性が理解できている。	・行動観察 ・実習課題成果物
	マルティメディア処理	・動画撮影の方法と工夫 ・動画編集の技法	○	○	○		a: 動画がどのように作られ、どのように表現されているのか理解できている。 b: 動画編集を通して、表現の工夫を考え、技術や方法を適切に判断し利用することができる。 c:動画処理の技術を使って、動画作品を作ることができる。	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ワークシート
3学期	画像処理	・画像処理の技法 ・画像のディジタル表現の原理	○	○	○		a:画像のしくみを理解し、様々な表現を実現するしくみが理解できている。 b:画像処理技術にどのようなものがあり、それらを適切に利用することを考えることができる。 c:画像処理技術を利用し、座像作品を作ることができる。	・行動観察 ・実習課題成果物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。